

経済連携協定に基づく外国人介護職員と日本人介護職員の職務継続意向について —職務面および生活面における満足度との関連から—

専攻 人間発達教育専攻
コース 教育コミュニケーションコース
学籍番号 m20010j
氏名 高橋華奈

1. 問題と目的

現在、介護業界の人材不足は深刻であり、外国人の介護職員の増加が切に求められている。だが、外国人介護職員に、日本で長く就業し続けてもらうのは容易ではないのが実情である。何が、外国人が継続して働き続けることを後押しする手立てになりうるだろうか。

本研究では、職務継続意向につながる条件を検討することを通して、その糸口を探ることとし、以下の3点を目的として定めた。①外国人介護職員の職務継続意向に、職務満足と生活満足がどのように関連しているのかを明らかにすること。②外国人介護職員が感じる職務満足および生活満足の内容とはどのようなものであるのかを明らかにすること。③日本人介護職員に対する調査も行い、それとの比較を行うことで、外国人介護職員、日本人介護職員それぞれの職務継続意向と職務満足、生活満足との関連の特徴を明らかにすること。

2. 研究方法

①調査協力者

EPA 介護福祉士候補者、EPA に基づいて来日した介護福祉士、外国人介護職員と共に働く日本人介護職員。分析対象となった有効回答は、外国人 89 人(インドネシア人 51, フィリピン人 25, ベトナム人 13)、日本人 75 人であった。

②調査時期

2023 年 11 月 5 日から 19 日にかけて、Google

フォームを用いて実施した。

③調査方法

厚生労働省のサイト等から EPA 介護福祉士候補者等が就労している施設を探し 325 施設に QR コードを記載したチラシを郵送すると同時に、SNS でも呼びかけを行った。アンケートフォームは各言語用意した。

④調査内容

1. 介護職員の背景及び勤務先の特性 介護職員の個人的な背景 7 項目、介護職員の職務に関する背景 7 項目、勤務先の特性 3 項目。

2. 職務継続意向・全体的職務満足・全体的生活満足 計 3 項目。職務継続意向の指標は Lee (2003)を参考に「あなたはこれからもいまの職場で働き続けたいと思いますか」、全体的職務満足の指標は冷水・浅野(1985)の指標を参考に「全体として、いまの仕事に満足していますか」、全体的生活満足は全体的職務満足に倣い「全体として、仕事以外のいまの生活に満足していますか」という質問でそれぞれ尋ねた。全て 4 件法。

3. 次元別職務満足 JDI (Job Descriptive Index) を基にした東條他(1985)の指標を参考に、仕事内容、上司、同僚、給料、勤務時間、昇進の機会、研修機会・内容、言語的配慮、異文化理解、プリセプター・エルダー・メンター制度に相当する存在(以下、エルダー相当と略記)についての満足度を尋ねた。全 54 項目、4 件法。

4. 次元別生活満足 小野(1993)を参考に、地域

社会、住居、余暇、家族や職場外での友人との関係、経済的な安心感や健康などについて尋ねた。全 12 項目、4 件法。

3. 分析結果

1. 外国人介護職員の職務継続意向

1-1. 職務継続意向と全体的職務満足及び全体的生活満足との関連 職務継続意向は全体的職務満足と強い有意な正の関連にあった。全体的生活満足との間の相関は有意ではなかったが、全体的職務満足と全体的生活満足の間には、有意な弱い正の相関が見られた。

1-2. 全体的職務満足と職務満足各次元との関連 全体職務満足は、仕事、同僚、上司、エルダー相当、勤務時間、給料、昇進、研修、被配慮（言語、困り事、文化・慣習）に対する満足と有意な正の関連にあった。

1-3. 全体生活満足と生活満足各次元との関連 因子分析の結果から得られた、安心した生活に関する満足、地域生活の利便性に関する満足、地域生活の利便性に関する満足各次元について検討した。全て全体的生活満足と有意な正の相関があった。

1-4. 職務継続意向と職務満足・生活満足各次元との関連 仕事、上司、同僚、給料、研修、エルダー相当に対する満足と有意な正の関連にあった。

2. 日本人介護職員の職務継続意向

2-1. 職務継続意向と全体的職務満足及び全体的生活満足との関連 職務継続意向は、全体的職務満足とは強い、全体的生活満足とも弱い有意な正の相関関係にあった。

2-2. 全体的職務満足と職務満足各次元との関連 全体職務満足は、仕事、同僚、上司、エルダー相当、昇進、被配慮（言語）に対する満足との間に有意な正の相関を示した。

2-3. 全体的生活満足と生活満足各次元との関連 因子分析の結果から得られた、日常生活に関する満足、余暇に関する満足各次元について検討したところ、いずれも全体的生活満足と有意な正の相関関係にあった。

2-4. 職務継続意向と職務満足・生活満足各次元との関連 仕事、上司に対する満足と有意な正の関連にあった。

4. 考察

外国人・日本人ともに、介護職員の職務継続意向は、全体的職務満足と非常に強い関連を示していた。その職務に全体的に満足を感じられているということが、職務継続意向に深く関わっているということである。

外国人の場合、職務継続意向は、仕事、上司、同僚、給料、研修、エルダー相当に対する各職務満足次元と有意な正の関連にあった。全体的な職務満足という気分的なものとは別に、直接に職務継続意向に関連するこれらの次元が、職務継続意向に関連する重要な側面であることが明らかとなった。なお、職務継続意向と全体的生活満足や生活満足の下位次元とは関連がみられなかったものの、全体的職務満足と全体的生活満足とは有意な関係にあったことから、何らかの間接的な関連がある可能性も示唆された。

日本人の場合、職務継続意向に関連する次元別職務満足は、仕事、上司であった。外国人と日本人で、職務継続意向に関連する項目がやや異なることが明らかになった。

5. 今後の課題

今回の調査は EPA のみを対象としたが、今後特定技能で介護に従事する外国人の満足度調査も必要である。

主任指導教員 中間 玲子
指導教員 中間 玲子